

ゴミ箱の底に
眠っていたのは

遠い世界へ僕を
連れて行ってくれる
希望の切符だった



■銃撃…!?

飛龍 *WAVE*

そう

遠い遠い
世界へと――

幸運時代
彌敦道

明星

闇社会で蔓延る悪
己の血と共に駆逐せよ

龍門大酒樓

新新

富豪新

星酒珍

金如地

會社

特別
読切

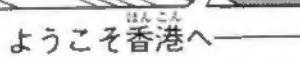
香港マフィアを描く
バトルガンアクション!!

狂龍

wyvern

YA初登場!!
期待の新星☆

桑山 純平



ハッ
天津









何でこんな事になっ
てんだよ……！



ただ東京から
逃げ出したかった
だけなのに……

あの場所から



あの男から……！



我々は
香港黒社会の住人



……
申し遅れましたが



あなた
貴方もそうです



くにむら
國村カズマ様
さま

いえ……



さんごうかい いっぱ
三合会が一派
どうほうかい じきかいちよう
導宝会“次期会長”

カズマ
和馬



ウオン
王!!!







.....



父さんだと？
知覚く呼ぶな！

俺が欲しいのは
お前なんか
じゃない！



ははっ…



国に帰れ！！

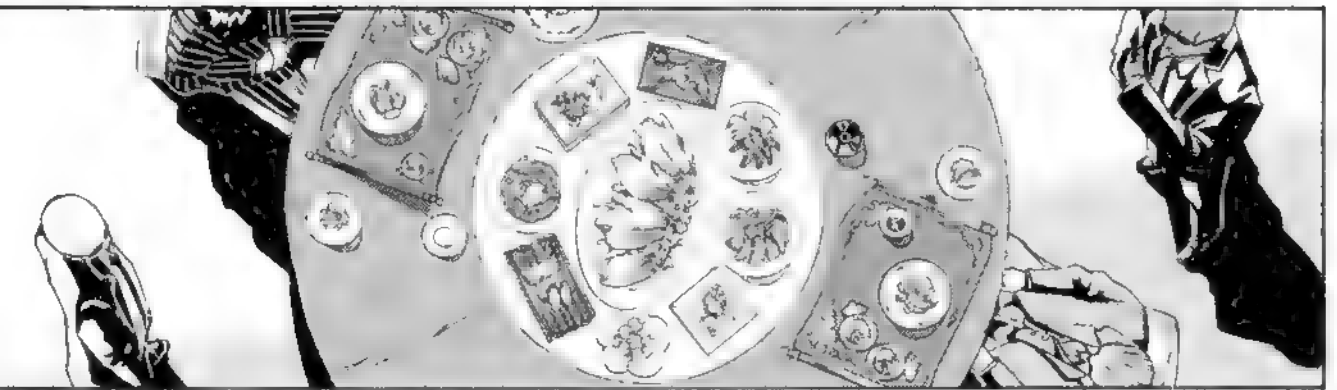
日産

帰れ



この……

僕が？





仁義^{じんぎ}など

微塵^{みじん}の価値^{かち}も
ないと……!!



ちよつ
ちよつと!

銃火砦
GUN FIRE FORT

同公合内記茲



我^{われ}らがアジトとはいえ
危険^{けんけん}がないとは
言い切れません



く……くつき過ぎ
じゃないかな!?

ここまで……

だめです



なんせ敵^{てき}は同じ

あつ
あの人^{ひと}

きっと
そうだ







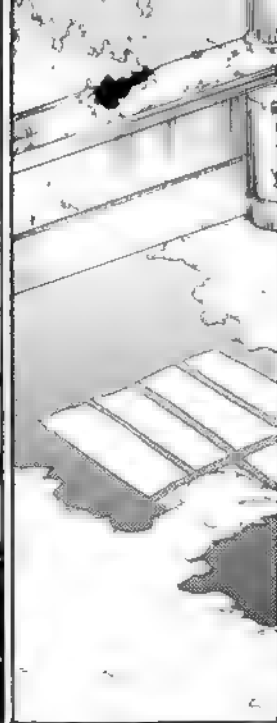




……どうぞ

?

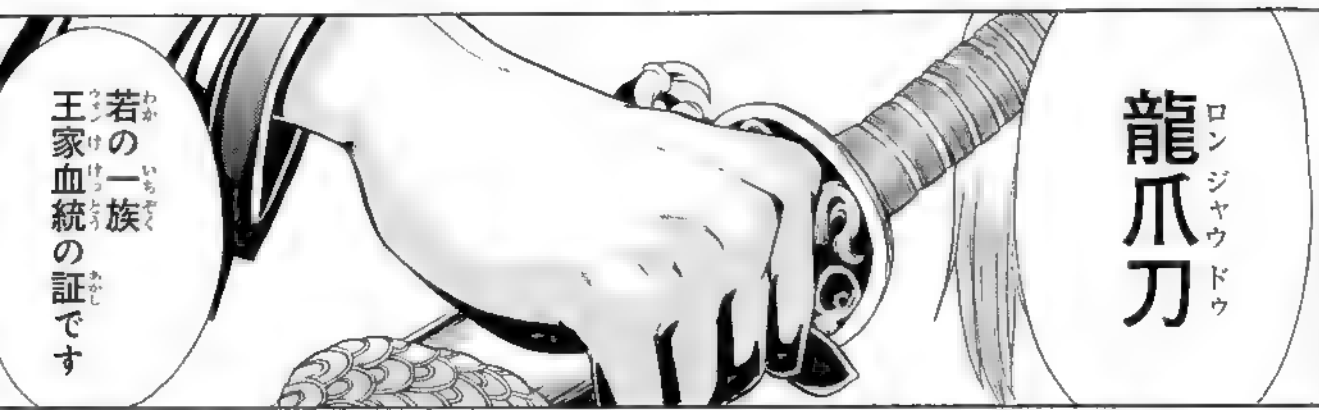
これは……



みみみみみ

見ましたっつ!!?

いえっ
何も……



ロンジャウドウ
龍爪刀

若の一族
王家血統の証です



……ミシエル

モウマントイ
無問題



これを持ってトニーと
会場である
宮に向かってください

とつとつと!



こ……これって
真剣!?

てか
ミシエルさんは……

早く!

それからさんは
付けないと
よろしい!





あ
い
っ
ミ
シ
エ
ル
と

そう………！

キッ…

お
ッ

おい
しょう
き
か…
!!??





おやおや
ミシエール!

剣撃魔女が
このザマとは...



がはッ



うッ...!



餓鬼はどこだ?

...一足遅かった
ようですね
リチャード

若なら
来ませんよ...!



ああ...早く
来られても困る

貴様をいたぶる楽しみが
減るからなア...!!



あいつは進んで
アンタの盾になった

信じてたんだよ！

自分の命より

アンタの命が
必要だって…!!

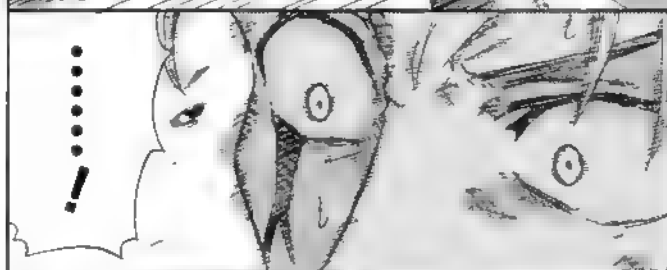
…無駄にしないで
やってくれ若


俺だって

…嫌だ


嫌…

テメエツ…!!






なに
何もできない
僕に



かあ
母さんの遺した
血の繋がりで



きず
傷ついて



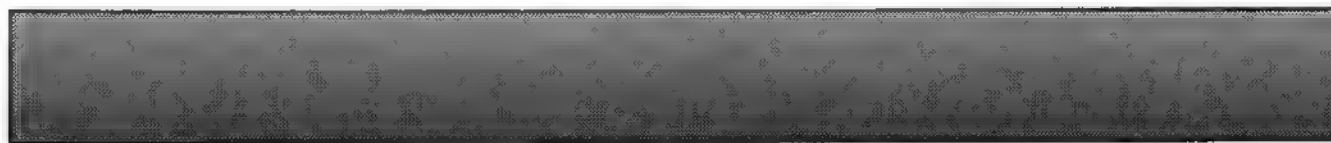
ほほえ
微笑んで



いのち
命まで懸けるって
言っただ娘を



みす
見捨てられる
かよ……!!!



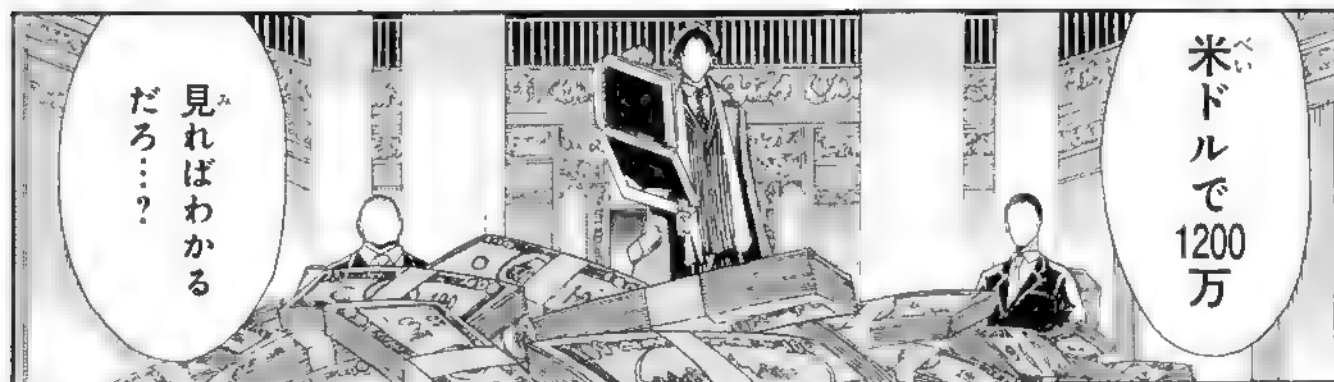








…どういうことだ
リチャード



米^{べい}ドルで
1200万

見^みればわかる
だろ…?



家族^{ファミリー}が
何^{なん}だ!?

しかし
それだけでは

仁^{じん}義^ぎが
何^{なん}だ!!?



金^{かね}にならぬもの
など不要^{ふよう}だ

金^{かね}が無^なければ
人^{ひと}は生^いきられん
のだから…!

.....

貴様ら
ご執着の龍爪刀は
まもなく届く

しょうめい
証明してやる

おれ
俺の思想を……！



ごとうちやく
御到着！！

ま
待っていたぞオ！！





それがなければ人^{ひと}

生きられない――



びッ

……

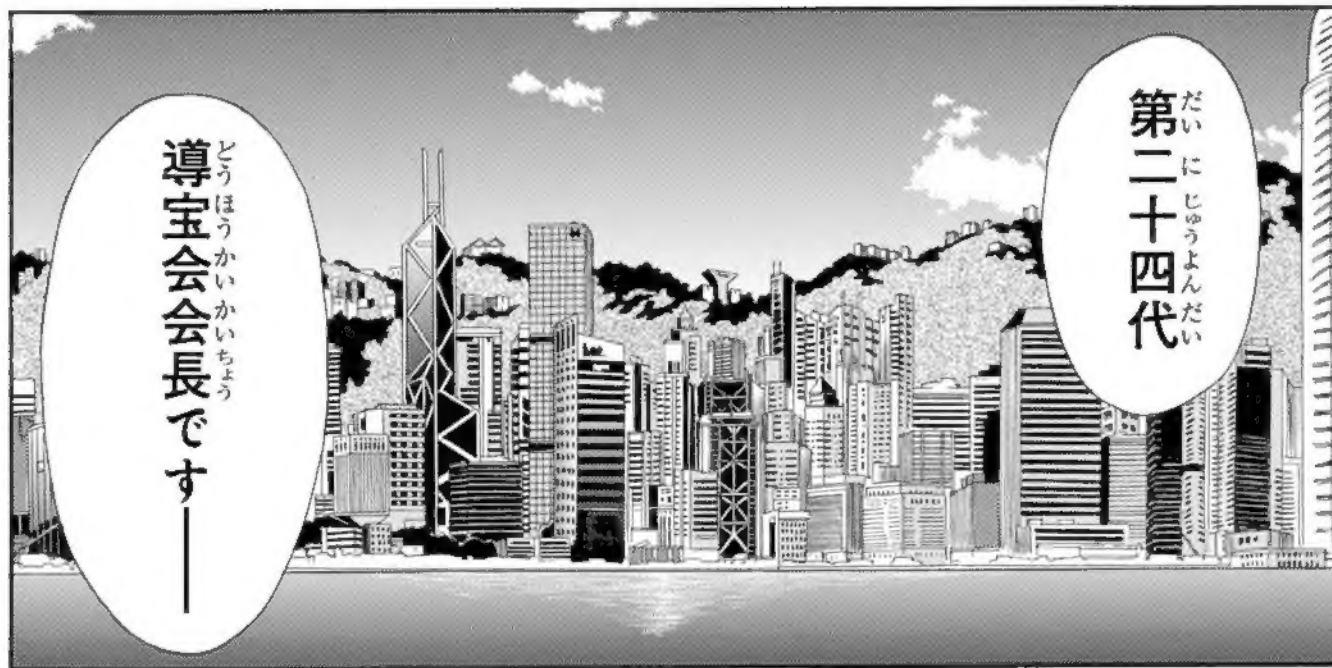


お待たせしました
要你等咗咁耐

何者だ
邊個!!?

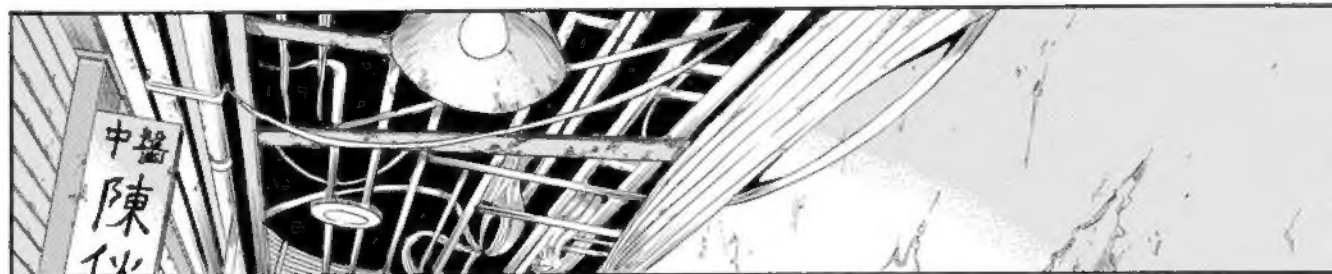


ぼく
カズ
マウ
ン
僕は和馬王



だいに
じゅうよんだい
第二十四代

どう
ほうかい
かいちょう
導宝会会長です——



みんな
めんぜん
皆の面前に
で
出るのですよ
わか
若っ！

ちよつと





.....
ひとつだけ

言い忘れた
ことがあった



君が必要だ
ミシエル



後悔なんて
しないよ

ここは僕を
必要とする世界



僕が必要とする
世界だから――

おわり